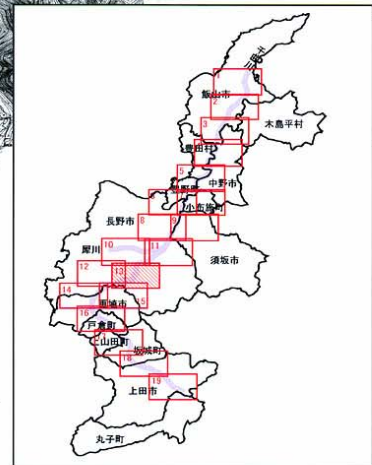
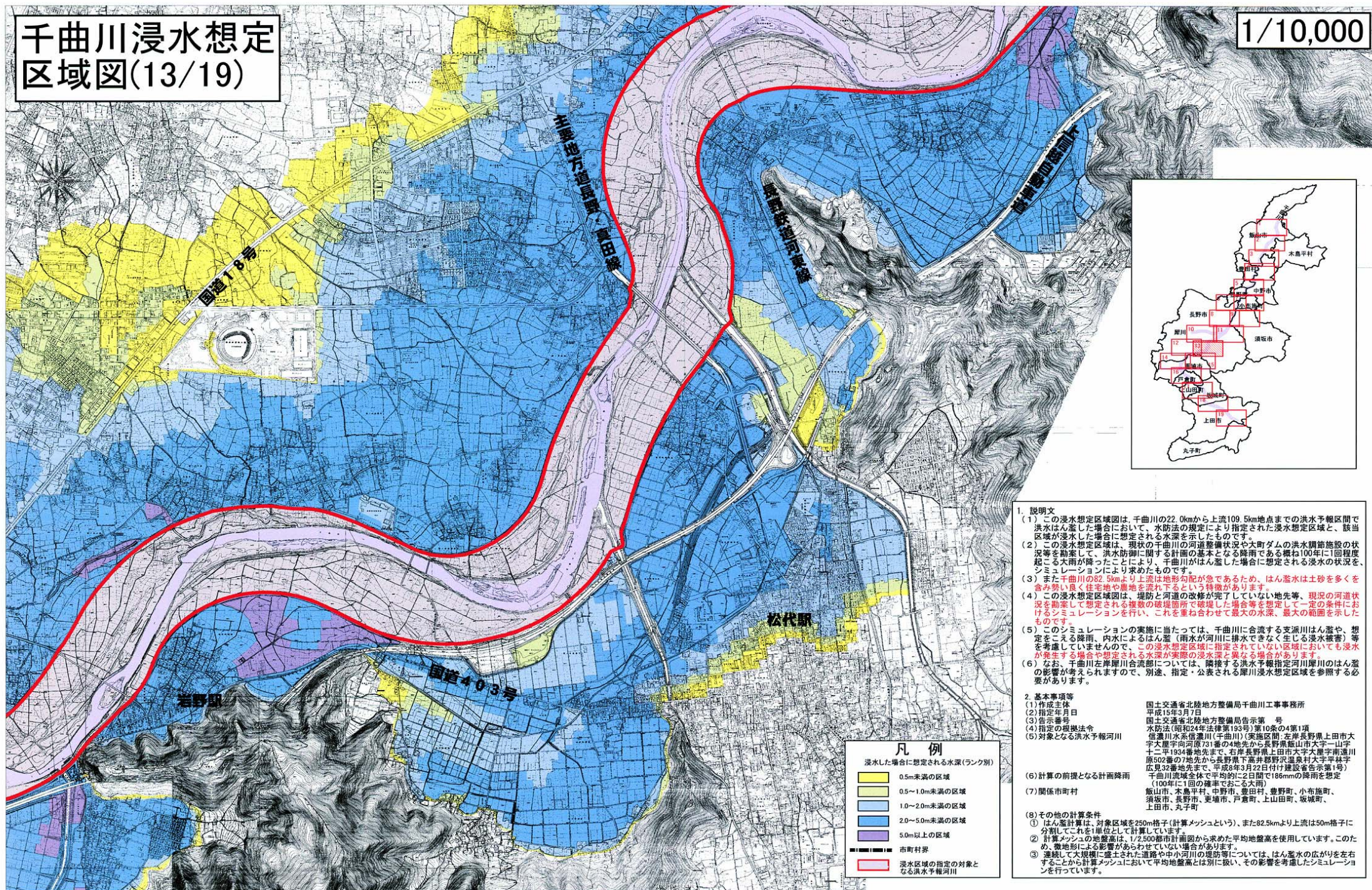


千曲川浸水想定 区域図(13/19)

1/10,000



1. 説明文
- (1) 洪水ははん濫した場合において、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、該当区域が浸水した場合に想定される水深を示したものです。
 - (2) この浸水想定区域は、現状の千曲川の河道整備状況や大町ダムの洪水調節施設の状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、千曲川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 - (3) また千曲川の82.5kmより上流は地形勾配が急であるため、はん濫水は土砂を多くを含み勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。
 - (4) この浸水想定区域図は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、現状の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を破壊した場合等を想定して一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の水深、最大の範囲を示したものです。
 - (5) このシミュレーションの実施に当たっては、千曲川に合流する支派川はん濫や、想定をこえる降雨、内水によるはん濫（雨水が河川に排水できなく生じる浸水被害）等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - (6) なお、千曲川左岸犀川合流部については、隣接する洪水予報指定河川犀川のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される犀川浸水想定区域を参照する必要があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局千曲川工事事務所
 - (2) 指定年月日
平成15年3月7日
 - (3) 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第 号
 - (4) 指定の根拠法令
水防法（昭和24年法律第193号）第10条の4第1項
信濃川水系信濃川（千曲川）（実地区間）左岸長野県上田市大字大屋字向河原731番の4地先から長野県飯山市大字一山字十二平1934番地先まで、右岸長野県上田市大字大屋字南達川原502番の7地先から長野県下高井郡野沢温泉村大字平林字広見32番地先まで、平成8年3月20日付け建設省告示第1号）千曲川流域全体で平均約2.2日間で186mmの降雨を想定（100年に1回の確率でおこる大雨）
 - (5) 関係市町村
飯山市、木島平村、中野市、豊野町、小布施町、須坂市、長野市、更埴市、戸倉町、上山田町、坂城町、上田市、丸子町
- (6) 計算の前提となる計画降雨
- (7) 関係市町村
- (8) その他の計算条件
- ① はん濫計算は、対象区域を250m格子（計算メッシュという）、また82.5kmより上流は50m格子に分割してこれを1単位として計算しています。
 - ② 計算メッシュの地盤高は、1/2,500都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、置地形による影響があらわれない場合があります。
 - ③ 連続して大規模に遊土された道路や中小河川の堤防等については、はん濫水の広がりや左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
0.5m未満の区域	黄色
0.5～1.0m未満の区域	黄緑色
1.0～2.0m未満の区域	青色
2.0～5.0m未満の区域	深青色
5.0m以上の区域	紫色
市町村界	黒点線
浸水区域の指定の対象となる洪水予報河川	赤線

信濃川水系信濃川（千曲川）浸水想定区域図